

# 地域情報化広域支援事業について ～（仮称）A-CIO事業の企画～

平成25年 6月

一般社団法人 九州テレコム振興センター  
(K I A I)

**KIAI**

Kyushu Island Alliance of ICT



# 地方自治体における情報化の現状

- (1) 国の補助金等を活用し、光、CATV等の超高速ブロードバンド基盤整備完了
- (2) 今後は防災無線やコミュニティFM等の災害時に活用できる基盤整備が主流
- (3) 合わせて、整備した超高速ブロードバンドの利活用や、他補助金等で整備したICTシステムの利用率向上施策が必要

一方で・・・

# 情報化推進にあたっての課題(1)

- (1) 情報化施策を専門的に担う部署がない
  - ・係として他業務兼任のため**専念できない**
  - ・必ずしも情報通信の**専門家ではない**
    - ⇒ メーカーやベンダー提案の**精査（妥当性評価）**ができない
  
- (2) 一元的な体制ではない
  - ・権限は組織内の情報化（NW、システム構築等）に限定
  - ・他部署のICT利活用については**権限がない**
    - ⇒ 効果的、効率的な体制、システム構築が困難。  
自治体の**基本計画との連動、連携が不十分**

# 情報化推進にあたっての課題(2)

## (3) 予算確保ができない

- 基盤整備のランニングコストの捻出
- 利活用推進のための予算確保が困難
- ⇒ **イニシャルコスト**に加え、**ランニングコスト**が多額
- 補助金の有効活用ができない

## (4) 活動範囲の広域化

- 組織内だけではなく、町内全域への普及促進活動が必要
- ⇒ 町内情報化を推進する**パートナーが必要**

課題解決の一助として・・・

**CIO的役割業務のシェアサービスのご提案**

# (仮称) A-C I Oとは

A-C I Oとは？

K I A I の I C T 利活用調査研究活動から生まれた造語

- ◆ **A** r e a (地域、地方) - C I O
- ◆ **A** l l i a n c e (協定、協力、同盟) - C I O
- ◆ **A** s s o c i a t e (提携、協同、仲間) - C I O

## C I O : C h i e f I n f o r m a t i o n O f f i c e rとは

企業内の情報システムや情報の流通を統括する担当役員。「最高情報責任者」「情報統括役員」などと訳される、企業の情報戦略のトップである。

元は米国の企業で用いられていた呼び名だが、情報戦略に注目が集まるにつれて日本でも採用する企業が増えつつある。

情報システムの構築や運営に関する技術的な能力だけでなく、そうして得られた情報を基にCEO(最高経営責任者)ら経営陣に対して適切な報告・助言を行うことも求められ、経営戦略に関する深い理解と能力も必要とされている。

I T 用語辞典から引用 e-W o r d s <http://e-words.jp/w/CIO.html>

# A-C I Oの特徴（1）

- (1) A-C I OはK I A I 事務局長（総務省地域ICTマネージャー）を中心とし、K I A Iコーディネーター・主任研究員が連携して担当
- (2) 複数の自治体でC I O機能をシェア  
⇒C I O機能を地方、近隣市町村でシェア  
（例：球磨人吉地方 1市4町5村）  
※ 任意参加（強制参加ではありません）
- (3) A-C I Oと連携可能な多彩な人材  
⇒九州内の地域情報化の第一線で活躍する人材からの支援
- (4) 継続的な活動  
⇒システム構築、サービス提供が目的ではなく、地方自治体におけるICT利活用推進を継続的に担う組織（体制）の構築を最終目標として活動を進めていく

# A-C I Oの特徴（2）

K I A I が提供するA-C I Oは地方の複数の自治体でC I O機能をシェアできます。

## （1）A-C I Oを受け入れやすい地方

- 既存の自治体単位ではなく、昔からひとつの生活圈（経済、文化、観光等）を形成している地方をひとつの括りとする。

## （2）A-C I Oのメリット

- 少ない費用でC I O機能を保持可能
- 課題及び、課題解決策についてもシェア（共有）が可能
- 市町村レベルでC I O雇用と同等以上の効果
  - ※ 一般的にC I O雇用は大企業や県、大都市に限られる（九州では長崎県、佐賀県がC I O設置）
- スケールメリット（連携することで、地方第三都市程度の規模感も可能）

# (例) 人吉球磨地方の市町村

H22国税調査結果	人口 人	世帯数 世帯	面積 m <sup>2</sup>	人口密度 人/m <sup>2</sup>	高齢化率 %	歳入 百万円
人吉市(ひとよし)	35,611	14,001	210.48	167	30.7	16,922
あさぎり町(あさぎりちょう)	16,638	5,414	159.49	102	30.2	13,263
多良木町(たらぎまち)	10,554	3,614	165.86	62	33.7	8,175
錦町(にしきまち)	11,075	3,602	84.93	129	25.3	6,028
湯前町(ゆのまえまち)	4,375	1,515	48.42	89	36.4	3,544
五木村(いつきむら)	1,205	503	252.94	5	41.9	3,868
球磨村(くまむら)	4,249	1,489	207.73	20	38.3	4,511
相良村(さがらむら)	4,934	1,529	94.54	51	33.3	4,274
水上村(みずかみむら)	2,405	854	190.96	12	38.4	3,054
山江村(やまえむら)	3,681	1,163	121.21	30	28.3	3,479
合計	94,727	33,684	1,536.56	62	31.3	67,118
参考 八代市(やつしろ)	132,266	47,458	680.60	192	28.7	55,507
(合併前の八代市)	101,213	37,212	146.85	689	—	—



# A-C I O活動の目的

A-C I Oは、単にICT機器やシステムを提供(提案)することが目的ではありません。特定のメーカーに依存せず、様々な情報通信システム構築に向け、真に必要なニーズに応じたコンサルティング、さらに実運用・運営体制構築に向けて必要なアドバイスをを行います。

さらに、地方自治体において、継続的な情報化・ICT利活用推進活動ができるよう、地域での勉強会の開催や、自治体と連携して情報化推進に取り組むコミュニティ(組織)形成を企画・実施支援します。

A-C I Oは、九州地域の情報通信関連分野の第一線で活躍している人材の集合とも言えます。課題に応じて多様な専門家を組み合わせた業務支援をします。